

令和２年度市民提案型ごみ減量活動等補助金 交付決定実績一覧

資料 4	令和３年 8 月 1 1 日
第 1 回木津川市廃棄物減量等推進審議会	

1. 先進的ごみ減量等モデル事業

1. 先進のごみ減量等モデル事業

					(円)	(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績（成果・達成度）	補助申請額	交付決定額	確定額
1	もってけドロボー蚤の市	kichi_lab_art	「もってけドロボー蚤の市」と題し、不要な古くても良い物を募集し、SNSでの情報発信や会場での展示により必要な方へつなげる。 残ってしまった物はリサイクルアートに変身させる。	事業開始 2 年目で認知度も上がり、利用者は増加している。古い家具等もリサイクルできた。開催日数 6 9 日間で合計 1、 3 8 0 人の方が訪れた。 リサイクルアートでは、農家さんから出た発泡スチロールを使って、子どもたちと一緒に舟の作品を制作した。	300, 000	317, 600	317, 600
		代表 加藤 史江				必要額	
2	生ごみ堆肥化	6丁目生ごみ堆肥の会	地域内の家庭にEMコンポストを設置して生ごみを1次処理し、2次処理拠点に集積して堆肥化する。 できた堆肥は地域で活用する。	生ごみ堆肥の保管設備建設により、堆肥化作業を計画通り行うことができ、生ごみを焼却せず堆肥化することにより、可燃ごみの減量・CO ₂ 発生 の抑制、資源の再循環を図ることができた。 会員数においては、目標 2 5 人に対し、 1 7 人にとどまった。	236, 704	236, 704	192, 241
		代表 佐々木 重規				上限額	
3	SDGs ボードゲームで学ぶ使い捨てない暮らし方へ	木津川市こどもエコクラブサポーターの会	「ゲット・ザ・ポイント」という簡単なボードゲームを活用し、楽しく専門家の解説を交えながらSDGsと自分の生活、自分の生活と世界とのつながりを発見し、持続可能な資源利用（ごみ減量）について考える。	SDGs について、ボードゲームを用いることにより、子どもたちに楽しく理解する機会を提供することができた。子どものみならず大人にも好評で、周りの人や未来を思いやって行動することが、持続可能な資源利用につながるということを、ゲームを通じ自然と行動してもらえ、参加者の満足度は高かった。	297, 240	297, 240	199, 515
		代表 立花 志保				申請額	
小計					833, 944	851, 544	709, 356

2. 地域内ごみ減量等推進事業

2. 地域内ごみ減量等推進事業					(円)	(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績（成果・達成度）	補助申請額	交付決定額	交付決定額
	申請無し						
小計					0	0	0

3. 地域型ふれあい収集事業

3. 地域型ふれあい収集事業

					(円)	(円)
番号	申請事業名	申請者名等	事業概要	事業実績	補助申請額	交付決定額
	申請無し					
小計					0	0

		(円)
補 助 申 請 額 合 計		833,944
交 付 決 定 額 合 計		851,544
実 績 報 告 確 定 額 合 計		709,356